



ローカーボン社会を目指し 印刷物のCO₂を「見える化」で 環境貢献。



カーボンフットプリント制度 (Carbon footprint of Products) とは

カーボンフットプリントとは、直訳すると「炭素の足跡」ということとなりますが、もともとは「人間活動が(温室効果ガス*の排出によって)地球環境を踏みつけた足跡」という比喻からきています。私たちが、購入、消費しているすべての商品やサービスは、作られてから廃棄されるまでの一生を通して多くのエネルギーが必要となります。そのエネルギーは、主に石油や石炭、天然ガスなど化石燃料から得られ、地球温暖化の原因となるCO₂を大気中に排出します。カーボンフットプリントとは、これら商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された温室効果ガスをCO₂量に換算して表示することを言います。

この新たな環境情報を知ることで、商品・サービスの分野でのCO₂削減を推進するツールとしての役割がカーボンフットプリントです。

*温室効果ガス …CO₂の他にメタン、フロンなどがある



カーボンフットプリントの詳細は公式HPをご覧ください。
<https://www.ctp-japan.jp/>

カーボンフットプリントの目的は？ どんなことに役立つの？

カーボンフットプリントの目的とは、個人や家庭での活動を通して、生活のどの部門でどのくらいの温室効果ガスが排出されているのかを知ることです。

まず企業や事業者は、商品やサービスのカーボンフットプリントを算定することで、CO₂排出量の多い工程や非効率な工程を把握することができ、より効率的にCO₂削減が可能になります。また企業では消費者や株主などからの要望に対して負う社会的責任(CSR)の一つであるCO₂排出量を開示することで、他社の商品・サービスとの競争力をつけ差別化をはかるといった意味もあります。

一方消費者は、商品やサービスのCO₂排出量について、企業や事業者から信頼できる情報を入手することができ、その情報は消費者のCO₂への関心を高め、排出量削減への意識の向上につながります。それによりCO₂排出量も考慮した商品を選択・購入をすることや、CO₂排出量のより少ない消費や廃棄・リサイクルを心がけていくことに役立ちます。

そして、これらの活動・行動を通じて、社会全体でCO₂排出削減に努力することで、低炭素(ローカーボン)社会が実現されていくことを目指しています。





カーボンフットプリントを知らう

印刷物のカーボンフットプリントとは

印刷物は私たちにとって必要不可欠なものです。とはいえCO₂排出削減の努力は必要です。

また企業・事業所にとってもCO₂排出削減=低炭素化は大きな課題ですが、その取り組みを対外的に発信する必要もあります。

印刷物製造にかかわる材料や印刷加工時のエネルギー、それらのCO₂排出量を正確に算定できるシステムを弊社では構築しました。印刷物の見積段階の仕様から、瞬時に1部あたりのCO₂排出量を計算し、[原材料調達][生産]段階における詳細なCO₂排出量計算書としてご提示することができます。

●印刷物へのCO₂表示

- ①弊社算出の[原材料調達][生産]の2段階のCO₂量をオリジナルマークで表示できます。

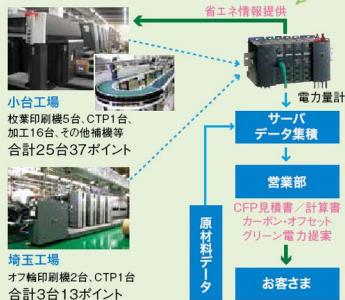


- ②一般社団法人産業環境管理協会によるCFPプログラムでCFP検証を受け合格した製品には「CFPプログラム参加マーク」が表示できます(費用と時間が掛かります)。



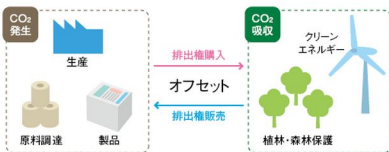
CO₂の見える化

工場の各機器に電力量計設置



カーボン・オフセット(Carbon Offset)とは

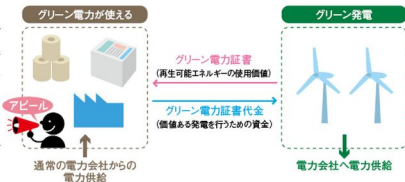
商品やサービスの提供のための活動で排出した温室効果ガス(CO₂等)の排出量をカーボンフットプリントの取り組みで把握・認識しCO₂排出削減の努力をしなければなりません。しかし努力しても削減できない温室効果ガスを植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などにより「他の場所」で直接的・間接的に吸収しようという考え方があります。具体的には温室効果ガスの排出削減・吸収量等、他者の削減効果(クレジット=排出権)を購入し、自己の排出量の全部または一部を相殺し、地球上のCO₂総量として差し引きゼロにすることが「カーボン・オフセット」です。



グリーン電力(証書)とは

グリーン電力とは風力や太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーで作った電気のことです。「グリーン電力証書」とは、これらのグリーンな電気が持つ「環境価値」を「証書」化して取引し、再生可能エネルギーの普及・拡大を応援する仕組みです。

作成する印刷物の製造工程での消費電力量を算定し、その分のグリーン電力を「証書」という形で購入すると、製造工程での電力は再生可能エネルギーによる電力を使用したとみなすことができます。



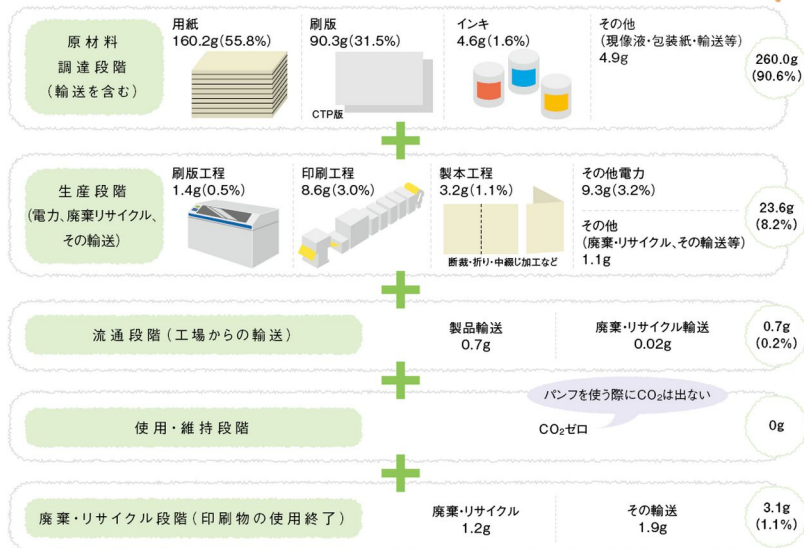


このパンフレットの
CFPはどれくらい？

用紙が全体の約1/2、
刷版で使うアルミ版が1/3。
これだけでCFPの
8割なんですね。



●『SUN-A LOHAS PRINTINGパンフレット』のCFP



1部あたり
287g

